

2023年度
学校だより
第 15 号

しもね

牛久市立下根中学校
令和6年2月9日
文責 校長 立花勝行

スキー宿泊学習(1年生)

～ One for all All for one 白銀と絆で作る最高の結晶 ～

1月17日(水)から19日(金)まで2泊3日で1年生がスキー宿泊学習を実施しました。実施にあたっては、実行委員の生徒がみんな楽しく宿泊学習ができるように何回も会議を重ね、スローガンやルールなどを決めてくれました。スローガンには、「団結力を高めていこうという想い。スキーとみんなの絆で最高の思い出を作ろうという想い。」が込められているようです。さらに実行委員長はしおりの中で、「私は皆さんにスキー宿泊学習を通して、仲間との関係を深めてもらうとともに、現地の方々や先生方と交流し、社会の作りを学んでほしいです。」や「一人だけが全力で楽しんでしまうと、全員が満足できなくなり、行事そのものが成功しなくなってしまう。そこで、全員が譲り合ったり、我慢し合ったりして、行事に取り組むことが大事だと思います。」と綴っていました。終わってみると、実行委員長や実行委員の皆さんの思いの通じた、すばらしいスキー宿泊学習だったようです。



【生徒の感想から】(一部抜粋)

僕は、このスキー宿泊学習を実行委員としての責任感を常にもちながら、行事の目標や約束ごと、持ち物、スローガンを決めて計画し、この3日間を自分たちが犠牲にした時間よりもずっと価値のある時間にする事ができたと思う。また、このスキー宿泊学習の計画から実行までに人をまとめる力や、判断力、行動力などさまざまな力を養うことができた。

3日間のスキー宿泊学習をして、協力することの大切さなどが分かりました。この3日間、声をかけなかったり、まわりをよく見ていなかったりしたら、スキー学習はいいものにならないと思って、3日間みんなで協力したり、声をかけ合ったりして良かったと思いました。スキーの時に、くつをはく所で自分のくつをとろうとした時に、友達がとってくれてうれしかったです。

自分から進んでだれかのために行動するという事です。たくさんの方が自分だけじゃなくて、人のために行動するからより楽しく過ごせるということも友達から学びました。

最後に、もうこれ以上幸せなことなんてないんじゃないかなって思うほど、すごく楽しい3日間だったので、これからもスキー学習で学んだことや、思い出は、ずっとずっと忘れずにいたいです。



令和5年度 華秋祭(4日目) 合唱コンクール 【2年生の合唱】 ～栄華秋英～月まで響け、虹色の音色～

1月30日(火)に華秋祭・2年生の合唱コンクールが行われました。11月の本番にピークを合わせていただけない、この2カ月のブランクはどう影響するのかと心配しましたが、余計な心配でした。どのクラスの合唱も、一人一人がクラスのためを思って歌っているのをひしひしと感じる合唱でした。素晴らしい合唱で多くの人を温かい気持ちにしてくれた、そして、感動させてくれた2年生に心から感謝したいと思います。また、延べ4日間、足かけ3カ月にわたってご協力くださった保護者の皆様、学校運営協議会の皆様、生徒に携わっていただいた方々に心より感謝申し上げます。

【2年生の振り返りから】(一部抜粋)

合唱では、最初は緊張してリズムがずれてしまったことがあったが、慣れてくると周りの声もよく聞こえるようになったと思う。指揮者を決めることが遅く、戸惑うことも多かったが、先生や候補者だった二人が率先してくれたおかげで練習がスムーズにできたと思う。

私自身、今回初めて合唱コンクールで歌ったので、練習の時もドキドキしました。失敗してしまっただろうと心配でしたが、パートリーダーさんや周りの人が協力してくださり、歌を安定させることができました。また、一人一人の意見を尊重してくれて、よりみんなの思いがこもった曲になったと思いました。今回の結果も、全員の気持ちや思いが審査員の先生に伝わったという証だと思え、嬉しかったです。

華秋祭が延期になってしまったのを聴いて、すごく残念な気持ちになった。また、練習が再開したとき、クラスの中にはやる気のない人もいたが、実行委員やパートリーダーがはげましてくれることで、みんなのやる気も取り戻せて、結果的には指揮者賞、銅賞を取ることができてよかった。最高なクラスでよい結果を残せてうれしい。

クラスの間と合唱練習を行い、課題を見つけたら指摘し合い、お互いを高め合えていけるような練習が、よい刺激になり、努力することの大切さを知ることができました。みんなで何か一つに向かって取り組むことで、団結力が生まれて、協力することの必要性を学ぶことができました。

本番では、今まで必死にやってきたことを忘れずに、真剣に歌おうと思ひ、そして、緊張しないよう深呼吸なども、リラックスして気持ちよく歌うことができました。賞は取れなかったものの、みんなの今までの頑張りと協力しようとする姿を見て、自分の中では金賞だと思ひました。

私は、華秋祭を終えて考えたことが3つあります。1つ目は、仲間との協力です。合唱の練習の中でギクシャクしてしまったこともあったけれど、最終的には協力してよりよい合唱に仕上げることができてよかったと思ひました。2つ目は、曲への向き合い方です。(略) 3つ目は、1つ1つの練習を大切にすることです。本来11月にあった華秋祭が1月になったことで、モチベーションが下がってしまいそうになったけれど、せっかく「あなたへ」をとることができたから、金賞をとりたいと思ひ、華秋祭まで練習を大切にすることができました。2年6組で金賞をとることができとても嬉しく思ひました。これには多くの努力や協力があったこそだということに改めて実感しました。

